

サレジオ同窓会日本連合 役員名簿

2016年2月15日

委=委任状あり

	日本連合役職	所属同窓会 役職	名前	出欠
1	会長	大阪星光学院同窓会 会長	吉田博史	○
2	副会長	育英学院同窓会 会長	林紹溢	○
3	副会長	日向学院同窓会 会長	野崎伸一	○
4	副会長	サレジオ学院同窓会 会長	倉知恒久	○
5	副会長	サレジオ小学校・中学校同窓会 会長	小太刀秀明	×委
6	理事	育英学院同窓会 副会長	近松秀明	○
7	理事	育英学院同窓会 副会長	由良公一	×
8	理事	サレジオ学院同窓会 副会長	長岡洋一	○
9	理事 (会計担当)	サレジオ学院同窓会 副会長	横山伸也	○
10	理事	大阪星光学院同窓会 副会長	森康雄	○
11	理事	大阪星光学院同窓会 東京星光会 代表	谷口浩一	×委
12	理事	大阪星光学院同窓会 東京星光会 副代表	仁賀慎二	×委
13	理事	大阪星光学院同窓会 常任理事	矢本浩教	×委
14	理事	大阪星光学院同窓会 事務局長	井上泰	○
15	理事	日向学院同窓会 事務局長	又江原充	○
16	理事	日向学院同窓会 事務局	黒岩充秀	○
17	理事	サレジオ小学校・中学校同窓会 事務局	富岡茂雄	○
18	監事	育英学院同窓会 副会長	奥山勇人	×委
19	監事	サレジオ学院同窓会 副会長	北村圭一	×
20	顧問	サレジオ会 日本管区長	山野内倫昭神父	○
21	顧問	大阪星光学院中学校・高等学校 校長・同窓生担当	鈴木英史神父	×委
22	顧問	サレジオ学院中学校・高等学校 校長・同窓生担当	鳥越政晴神父	×委
23	顧問	サレジオ工業高等専門学校 校長	小島知博神父	×委
24	顧問	日向学院中学校・高等学校 校長	濱崎敦神父	○
25	顧問	サレジオ小学校・中学校 校長・同窓生担当	北川純二神父	×
26	顧問	サレジオ会司祭 (サレジオ小学校・中学校 前校長)	鈴木正夫神父	○
27	事務局長	サレジオ学院同窓会 常任幹事 サレジオ会広報担当	立石光洋	○
28	事務局	大阪星光学院同窓会 東京星光会 学年幹事(45期)	大川千寿	○

<オブザーバー>

育英学院同窓会: 河村英和(副会長)

日向学院同窓会: 塚田正徳(副会長)、永野泰三(東日本同窓会顧問)、佐藤洋一(東日本同窓会監事)

【懇親会のみ】田村宣行神父(副校長)、吉田悦郎(教頭)、中田正一郎神父(教諭)

◆連合役員への被推薦者

日向学院同窓会: 塚田正徳(副会長)、酒井秀光(東日本同窓会会長)、篠原博行(東日本同窓会副会長)

サレジオ同窓会日本連合規約

2016年2月27日改正案

序

サレジオ同窓会は、聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）の愛情と教育を受けた同窓生たちがドン・ボスコのように社会の人々のために奉仕したいという熱意から、自発的に活動を始めたことに端を発し、1911年に正式に発足した。

サレジオ同窓会世界連合の規約に基づき、日本国内の実情に合わせて、サレジオ同窓会日本連合規約を以下のとおり制定する。

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、サレジオ同窓会日本連合と称する。

(定義)

第2条 サレジオ同窓会日本連合（以下「本連合」）は、ドン・ボスコの精神のもとに運営される。

- 2 本連合は、サレジオ会によって創設が勧められた非営利団体で、サレジオ家族の一員である。したがってサレジオ会創立者ドン・ボスコの後継者であるサレジオ会総長を精神的一致の中心におく。
- 3 本連合は、サレジオ同窓会世界連合 (The Past Pupils of Don Bosco) に所属し、その目的を共有する。
- 4 本連合は、いかなる政治団体にも属さない。

(目的)

第3条 本連合は、日本におけるサレジオ会各学校の同窓会（以下「各同窓会」）の発展に寄与するとともに、各同窓会相互の交流、連携、研鑽等を推進することにより、サレジオ会各学校および在校生の発展に尽力し、広く社会に貢献することを目的とする。

(事業)

第4条 本連合は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 各同窓会相互の交流、連携、研鑽等の推進
- (2) 各同窓会とサレジオ会との連携の推進
- (3) サレジオ同窓会世界連合との連携の推進
- (4) サレジオ家族の諸団体との連携の推進
- (5) 新たな学校同窓会などの各種同窓会設立の支援
- (6) その他本連合の目的に沿った事業活動

第2章 構成および各同窓会の関係

(構成)

第5条 本連合は、各同窓会より構成される。

- 2 各同窓会は、自主的に運営され、本連合の目的および精神を共有し、会員との接觸を保ち、本連合との連絡を保つ。

(各同窓会)

第6条 各同窓会は、次のとおりとする。

- (1) 育英学院同窓会
- (2) 日向学院同窓会
- (3) 大阪星光学院同窓会
- (4) サレジオ学院同窓会
- (5) サレジオ小学校・中学校**同窓会**

第3章 会員

(会員)

第7条 本連合の会員は、第6条に掲げる各同窓会会員より構成される。

- 2 サレジオ会または各同窓会が推薦する者は、役員会での承認を経て、会員として本連合に加入することができる。
- 3 会員は当規約を遵守する。

(賛助会員)

第8条 本連合の事業に連携、協力できる団体および個人は、役員会での承認を経て、賛助会員として本連合に加入することができる。

第4章 役員等

(役員)

第9条 本連合役員会は、次の役員をもって構成する。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 4名以上
 - (3) 理事 4名以上（うち会計1名）
 - (4) 監事 2名
- 2 役員の任期は3年とし、再選は妨げない。ただし、最長連続9年とする。
 - 3 役員は、役員会において選出する。各同窓会から2名以上の選出を原則とする。ただし、初代役員は、役員選出を議事とする準備会合において選出する。
 - 4 会長および副会長は、役員と顧問の推挙により選出する。

(役員の役割)

第 10 条 会長は、本会を代表して会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に支障があるときは、その職務を代行する。
- 3 理事は、本会と各同窓会との連絡調整を図るとともに、会長・副会長を補佐し、会務の執行上重要な事項を審議する。
- 4 会計は事務局と連携をとり会の経理上の会務を行う。
- 5 監事は会計の執行状況の監査を行う。

(顧問)

第 11 条 本連合は、サレジオ会日本管区長、本連合担当司祭およびサレジオ会学校長を顧問とする。顧問は、役員会に出席し、意見を述べ、議決権を行使することができる。

- 2 顧問は、本連合会務に関する重要事項について助言する。

第 5 章 会議

(会議)

第 12 条 本連合の会議は、役員会、臨時役員会とする。

(役員会)

第 13 条 役員会は、第 9 条に掲げる役員と第 11 条の顧問をもって組織する。

- 2 役員会は、次に掲げる事項を審議する。
 - (1) 役員の選任に関する事項
 - (2) 事業計画及び事業報告に関する事項
 - (3) 予算及び決算に関する事項
 - (4) 規約の改廃に関する事項
 - (5) その他会長が必要と認めた事項
- 3 役員会は、会長が毎年 1 回招集し、その議長となる。ただし、会長が認める場合に臨時役員会を招集することができる。
- 4 役員会、臨時役員会は、第 1 項に掲げる役員、顧問の過半数が出席しなければ、議事を開き、議決をすることができない。ただし、委任状による出席を認める。
- 5 役員会の議事は、出席者の過半数をもって決定する。可否同数のときは、議長の決するところによる。

第6章 会計

(経費)

第14条 本連合の経費は、各同窓会の負担金、協賛金、寄附金その他の収入をもって充てる。

2 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(監査)

第15条 会長は、会計年度ごとに決算書を作成し、会計監事の監査を受けなければならぬ。

第7章 本部および事務局等

(本部および事務局等)

第16条 本連合の本部は、サレジオ会日本管区本部内に置く。

2 本連合の事務を処理するため、前1項の本部内に事務局を置く。

3 会長は、本連合の運営に必要と認める機関を設置することができる。

第8章 規約の改正等

(規約の改正)

第17条 この規約は、役員会において役員および顧問の過半数の議決により改正することができる。

(雑則)

第18条 この規約に定めるもののほか、本連合の運営に関し必要な事項は、役員会の承認を得て、別に定める。

付則

1. 本規約は2015年2月21日より施行する。
2. 2016年2月27日一部改正（第6条(5)）

【参考資料1】(第2条関連) サレジオ同窓会世界連合の目的（要旨）

サレジオ同窓会の目的は、以下の取り組みを通して、命・自由・真理といった普遍的価値について「良き社会人」として常に留意し、擁護することである。

- ・特に若者たちが「命」を大切にし、生きる意味を見出せるよう助け導く。特に貧しく困窮する人々の人生・生活の質の向上に配慮する。
- ・すべての人、特に若者たちにとって、真の「自由」が保障され、よりよい世界を共働によって築くことができるることを目指す。
- ・相対主義に陥ることなく、健全な多様性を尊重しながら、揺らぐことのない「真理」を求め、その価値を擁護する。

同窓生は、サレジオ会学校で学んだドン・ボスコの教育の実りを活かし、以下の取り組みを通して、広く社会に寄与する使命をもつ。

- ・政治・経済・文化など、社会のあらゆる分野をリードする専門能力を養成する。
- ・命・人生の価値を高め、道理・良心を大切にし、責任をもって判断し行動する力を養成する。
- ・個人的成功だけでなく同窓生の社会的ネットワークを形成し、共通善を目指して連帯し、社会の発展に貢献する。

ドン・ボスコが導いたように、同窓生は若者たちと関わりながら、良き社会人として成長するよう配慮・支援し、専門的知識と経験を活かして若者の職業教育・就職支援に取り組む。

ドン・ボスコの精神を共有し広めるために、会員相互の交流・連帯を促進する。また「ドン・ボスコの仲間」として、サレジオ会はじめサレジオ家族の諸団体と交流・連帯しつつ「サレジアン・ムーブメント」の一層の広がりに努める。

(Chapter II 'Aims and Objectives of the Association of the Past Pupils of Don Bosco', STATUES OF THE WORLD CONFEDERATION OF THE PAST PUPILS OF DON BOSCO, Rome, 24 June 2011)

【参考資料2】(第6条関連) 「各同窓会」の母体となる学校（所在地）

(1) 育英学院同窓会（東京都町田市）

東京育英工芸学校（旧制）、帝都育英工業学校（旧制）、帝都育英学院中学校、帝都育英工業高等学校、育英中学校、育英工業高等学校、育英高等専門学校、育英工業高等専門学校（以上、東京都杉並区）、サレジオ工業高等専門学校（東京都町田市）

(2) 日向学院同窓会（宮崎県宮崎市）

日向高等学校、日向学院短期大学（閉校）、日向学院中学校、日向学院高等学校

(3) 大阪星光学院同窓会（大阪府大阪市）

大阪星光学院中学校、大阪星光学院高等学校

(4) サレジオ学院同窓会（神奈川県横浜市）

目黒サレジオ中学校（東京都目黒区）、サレジオ高等学校（神奈川県川崎市）、川崎サレジオ中学校（川崎市）、サレジオ学院中学校（神奈川県横浜市）、サレジオ学院高等学校（横浜市）

(5) サレジオ小学校・中学校同窓会（東京都小平市）

東京サレジオ学園小学校、東京サレジオ学園中学校、サレジオ小学校、サレジオ中学校

サレジオ同窓会日本連合 2月宮崎会合プレミーティング議事録

日時： 2016年1月19日（火）18:40～ミーティング、19:40～21:30懇親会（参加費 5000円）

場所： 新横浜国際ホテル南館1F コンカフェ

出席者：育英学院同窓会：近松、奥山

大阪星光学院同窓会：吉田（連合会長）、仁賀

日向学院同窓会：篠原、中村、原田

サレジオ学院同窓会：倉知（連合副会長）、長岡、北村、横山、堀田、谷山、長沼、久保

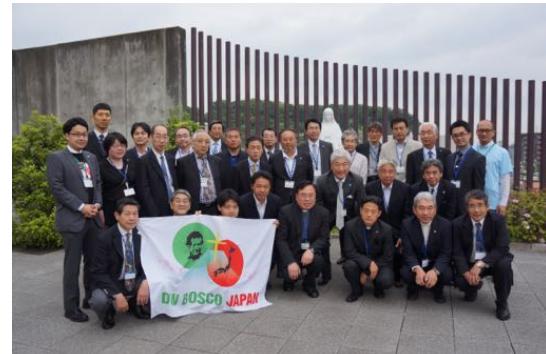
サレジオ小中同窓会：富岡

連合顧問：Fr.山野内管区長、Fr.小島、Fr.北川、Fr.鈴木正夫

事務局：大川、立石（計22人）

1. サレジオ同窓会日本連合の同窓生数（在校生数）※2016年2月現在の概数

- ・育英学院同窓会（町田）：13,400人（770人）
 - ・日向学院同窓会（宮崎）：11,000人（880人）
 - ・大阪星光学院同窓会（大阪）：12,300人（1,230人）
 - ・サレジオ学院同窓会（横浜）：6,900人（1,100人）
 - ・サレジオ小中同窓会（小平）：1,600人（180人）
- 計 サレジオ同窓会日本連合：45,200人（4,160人）



2. 2015年度 主な活動

連合設立まで準備会合を4回開催

（13年8月@新横浜、14年8月@碑文谷、14年10月@大阪星光学院、15年2月@サレジオ学院）

15年5月9日 連合設立役員会@サレジオ高専（規約制定。役員28人、うち顧問司祭7人）

6月7日 広報グループ会合@サレジオ会管区長館（メーリングリスト、HP等検討。10人参加）

6月13日 世の光応援団@芝浦工業大学（東京星光会主催の若手同窓生のための勉強・交流会）

7月11日 ウニオーネ・サレジオ同窓会連合の合同ミーティング@星美学園（ドン・ボスコ生誕200周年閉幕イベントで同窓会コーナーを共同開催する準備）

8月15日 サレジオ小中同窓会設立（支援金10万円拠出。同窓生へ案内送付等のため）

10月3~6日 サレジオ同窓会連合世界大会@サレジオ会ローマ本部（4人派遣。30団体、約260人参加。活動報告、交流、会則改正、新会長・役員選出等。ミラノ万博で日本のサレジオ活動を発表）

11月23日 ドン・ボスコ生誕200周年閉幕イベント&ミサ@東京カテドラル（同窓会コーナーをウニオーネと共同開催、20~30人訪問。イベント&ミサに参加）

12月4日 東ティモール勉強会@杉並サイテック（16年10月東ティモールでの同窓会アジア大会に向け、育英学院OGで現地JICA専門家の辻村直氏を講師に勉強・交流会。16人参加）

12月12日 世の光応援団@芝浦工業大学（東京星光会主催の若手同窓生のための勉強・交流会）

16年1月15日 サレジオ家族合同評議会@調布サレジアン・シスターズ管区本部（2人出席）

1月19日 プ雷ミーティング@新横浜（2月宮崎会合に向けた準備・交流会。22人参加）

2月27日 連合役員会@日向学院（開催予定）



集い、語らい、力を合わせる



各校を見学(サレジオ高専)



世界大会で総長・新会長と

3. 今後の展望（案）

山野内管区長より、サレジオ家族年間目標2016（ストレンナ）を紹介。「With Jesus, let us Adventure in the Spirit together! 聖靈にゆだねて冒険してみよう！イエスと一緒に。」サレジオ会員は同窓生と共に「Adventure 冒険」に出る1年としたい。

中期計画（3～5年スパン）について、これまでの意見等をふまえブレインストーミング

①交流・連携の推進（案）

1-1) 広報で同窓会連合を周知、パンフレットやホームページ制作等。日本・世界の広がりを周知。

→昨年6月に広報グループで検討したが中断。2016年すみやかに制作を進めたい。

→Facebookは共通の運用ルールを慎重に要検討。

1-2) 全体会合の間隔を短くし、具体的な活動を積極的に進めていく。

1-3) 集いやすいイベントを繰り返し、互いの同窓会を周知する。

→各同窓会のイベントで他同窓会メンバーを招待できるものがあれば、メーリングリストを活用し、広く参加を呼びかける。（ゴルフコンペ・勉強会・懇親会等の既存イベントを相互活用）

1-4) 数年に1度大きな会合を開き、広く参加を呼びかける。

→昨年11月DB200閉幕式のようなイベント&ミサ。2018年頃フェルナンデス総長来日時など。

1-5) 集える場（OB経営の飲食店等）の情報収集・共有。

→集える場を同窓会が開設・運営・支援する可能性も検討してはどうか。

1-6) 国内外サレジオ活動支援「ドン・ボスコ基金」の運営支援。

→「ドン・ボスコ基金」は国内外で被災地・紛争地・貧困層等のために働くサレジオ活動を支援。

基金運営の専門的サポート、寄付集めの協力を、同窓会のネットワークで支援してはどうか。

②在校生交流の支援（案）

2-1) サレジオの日本・世界のネットワークを在校中に周知・育成し、若手同窓生の活性化をめざす。

→日向学院ではテレビ宮崎と組んで「高校生塾」を開催。活躍中の同窓生と在校生をつなぐ。

→「ドン・ボスコの風」で引き続き同窓生を紹介し、卒業後の姿在校生・保護者に示す。

2-2) 日向学院「アジア高校生サミット」を生徒・同窓生の交流の機会に。（別紙参照）

→高校生の8割が将来の「安定」を求めている。在学中に世界に目を開くチャンスを与える。

東京での実施は日向の大学生がサポート予定。他校の高校生・大学生OBも参加してはどうか。

2-3) 生徒代表セミナー・交流会／スポーツ交流会／合同文化祭（音楽演劇等）を順繰りに開催。

→2018年頃フェルナンデス総長が来日する際に、合同文化祭を開催してはどうか。

③若い同窓生の支援（案）

3-1) 同窓会青年部の検討（世界連合では18～30歳の同窓会青年部=GEXとその代表者を配置）

→将来的には世界・日本に展開中のSYM（Salesian Youth Movement=サレジオ青年運動）に参画。

SYMは「ドン・ボスコの精神で、若者が力を合わせて行う多様な活動」の総称。同窓生も含む。

→まず各同窓会での青年部の活性化が必要。

若い同窓生に学年幹事を任せ、同窓会活動に巻き込んでいく。

3-2) 各同窓会の枠を超えて、若者支援・進路相談・勉強・交流会等を展開する。

→東京星光会「世の光応援団」を相互活用。（すでに育英・日向・横浜の同窓生が参加）

「世の光応援団」は在学中に社会に触れ、視野を広げる機会として開始。

著名人や同窓生を講師に招いて勉強会・パイプ作りの会を年2回開催。

学生に話を聞きたい職種をアンケートしたうえで企画、講師を選定。参加者の関心も高い。

→16年10月 東ティモール大会に20代の若い同窓生を派遣することも検討したい。

→DBVG ドン・ボスコ海外青年ボランティアへの参加を呼びかける。

④研修・研鑽（案）

4-1) ドン・ボスコの精神を学ぶ勉強会。

→毎年2月の「サレジオ靈性セミナー」に参加できるが、同窓生には内容が濃すぎるか。

→世界大会・アジア大会やイタリア巡礼に参加することが、最も良い研修の機会。

16年10月 同窓会アジア大会@東ティモールに積極的に参加、準備会を開催。

→記念・追悼ミサを役員会の際などに同時開催したい。

4-2) サレジオ会学校教職員の交流・研鑽支援。

→毎年8月サレジオ会学校連合会が教職員研修（幼稚園職員も含む）を実施。

2泊3日で、3回の講話と話し合い、2晩の懇親会。会場は持ち回りで、7年続き良い成果あり。

→同窓会連合としては、オフ会（継続的な交流、自主的な勉強会等）を支援してはどうか。

若手教職員（特に同窓生）のネットワークを組織し、地域ごとの集いを支援してはどうか。

4-3) ボランティア活動など、社会貢献活動。

